

一般財団法人リモート・センシング技術センターと 共に取り組む 「平和な地域づくり」

2025年11月7日
公益財団法人イオン環境財団
山本 百合子

「イオン(AEON)」＝ラテン語で「永遠」

お客さまへの貢献を永遠の使命とし
その使命を果たす中で
グループ自身が永遠に発展と繁栄を
続けていくとの願い

イオングループ概要



営業収益

10兆1,348億円

>

一覧はこちら

グループ従業員数

約62万人



店舗数

18,086
店舗/カ所



イオンカード等
金融サービス
顧客ID数

約5,572万
人
(うち国内3,615万
人)



植樹本数

約1,276万
本



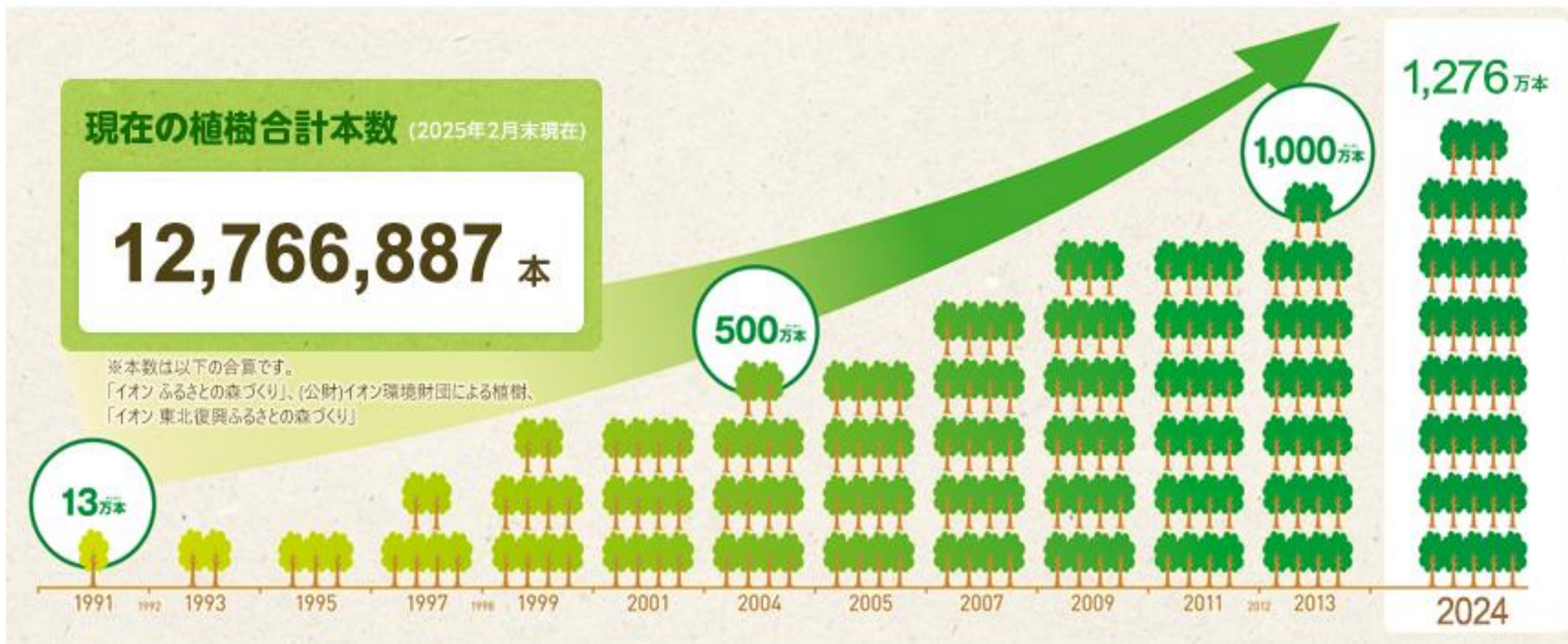
※連結子会社、持分法適用関連会社の合計



木を植えています

未来の子どもたちのために

イオンの森づくり





植樹



助成



環境教育・共同研究

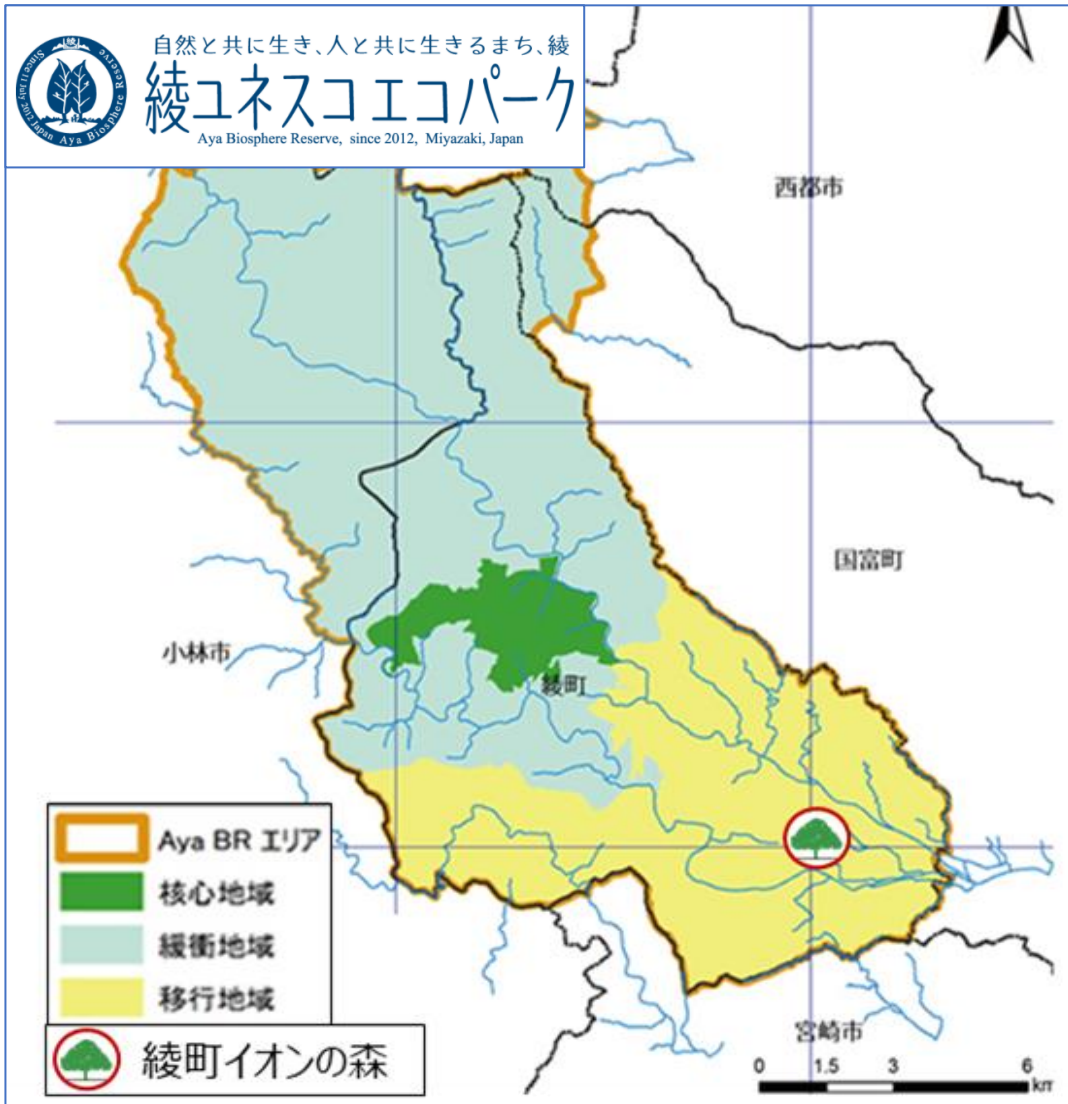


顕彰

日本初、地球環境に特化した民間財団



RESTEC連携事例① 宮崎県 綾町での平和構築

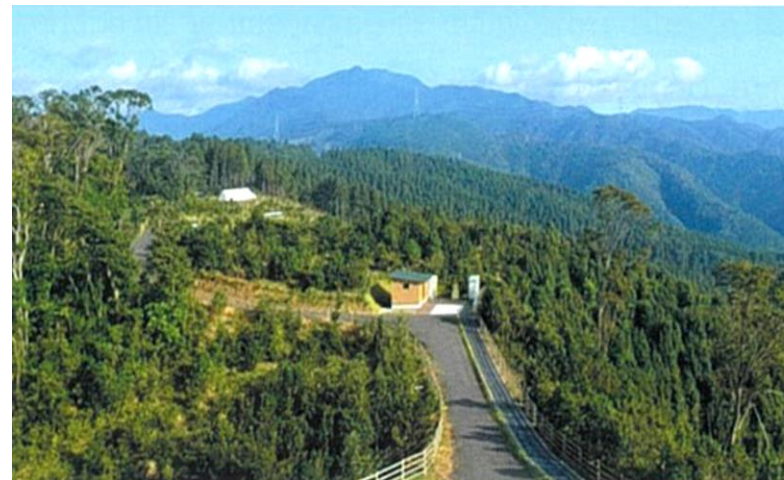


2013年～2015年
植樹

2017年～日本
ユネスコエコパーク
と連携協定を締結



綾町全景



綾町イオンの森

2017年～2019年
植樹

2021年～2022年
植樹

2022年～育樹

綾町イオンの森

植樹日	ボランティア数	植樹本数
2013年11月23日	500名	5,000
2014年11月22日	550名	4,200
2015年11月21日	700名	5,000
2017年11月4日	200名	1,200
2018年10月27日	200名	1,000
2019年10月19日	400名	3,000
2021年10月16日	85名	850
2021年11月21日	100名	350
2022年10月8日	250名	1,000
2023年10月7日		育樹
		21,600
ヤマザクラ・カツラ・サワグルミ・シナノキ・キハダ・ケヤキ・イヌシデ・イロハモミジなど25種類以上		

伐採したスギ材を利用した綾中学校



「森」から「里山」へ



2014年



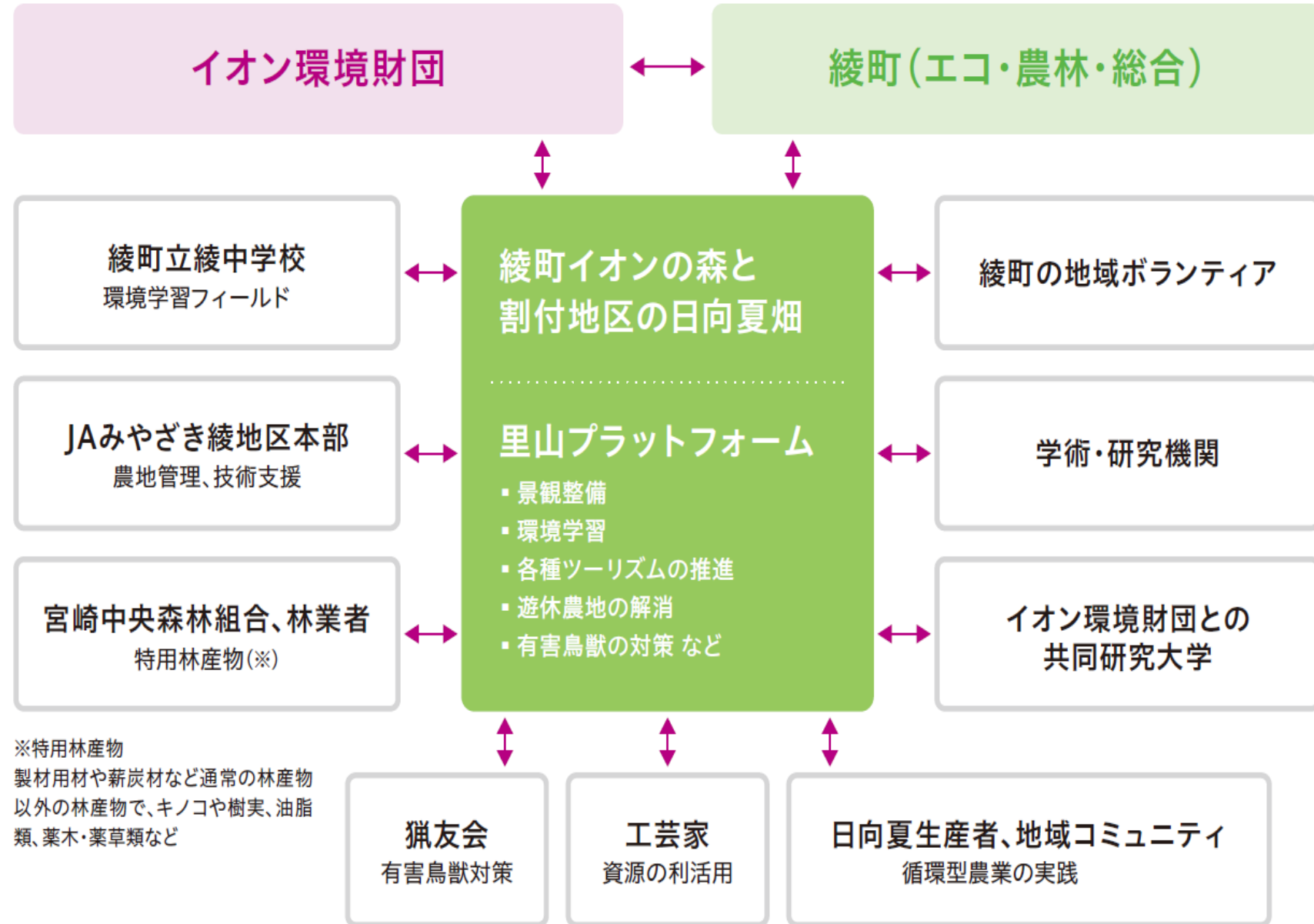
2025年



特産品「日向夏
みかん」ニホン
ミツバチの送粉

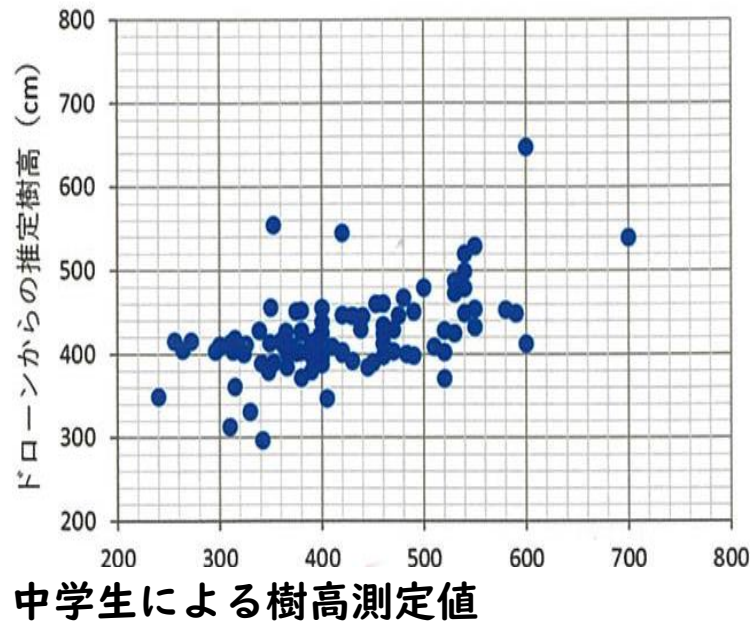


環境省自然共生サイト 2024年9月 「綾町イオンの森」 「割付地区の日向夏畑」



里山をフィールドにした環境教育

2019年から連携 出前授業とフィールドワーク
人工衛星から地球表面を観測する技術を森林管理に活用
綾町イオンの森にて「炭素蓄積量調査」を実施



ドローン画像で位置情報整理



綾中学生による調査
(実測とタブレット入力)

カンボジアでの平和構築



カンボジアにおけるイオンの活動

カンボジアとイオンのこれまでの交流



2014年1号店
2018年2号店
2023年3号店

2019年（第8回）カンボジアで「平和」をテーマに開催



「リモートセンシング技術 — 自然と人間を守るために」



国際的なリモートセンシング
技術活用 of 概要・事例紹介他

リモートセンシングは地球規模
の環境監視に不可欠

RESTEC連携事例③ 森の健康診断



画像提供：RESTEC マレーシア パヤインダイオンの森

地域ボランティアの手で豊かな自然を守る

2010年～2011年

アンコールワット遺跡群チャウスレイ・ヴィヴォル周辺



2015-2017年 カンボジア最大級の野生生物保護区



密猟から保護されたゾウ

カンボジアのイオンの森



今後への期待

2024年山形県南陽市秋葉山山林火災122ha焼失
2025年10月29日200名1,000本復興植樹



- 平和とは、戦争や暴力がないというだけに止まりません。
- 心の安寧に加えて、戦争や災害さらにはさまざまな不幸から立ち上がり乗り越える力をも含むものです。
- 21世紀になっても戦争は止まず、大震災や異常気象などの自然災害が頻発しています。今こそ平和の価値があらためて問い直されています。
- 平和は、そのまま与えられるものではありません。
- 平和は、わたしたちが能動的で意識的に関与することによってはじめて保たれるのです。

イオンが目指すのは積極的な平和への貢献です。

お客さまを原点に平和を追求し、
人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン平和の森

宜野湾市・公益財団法人イオン環境財団

2018年12月8日

